

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度 第1回社会教育委員会議
開 催 日 時	令和7年7月22日(火) 午後 7時00分から 午後 8時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所 3階304・305会議室
出席委員(者)氏名	田中裕史委員、大河内伸浩委員、川上裕子委員、 福田稔之委員、石垣隆委員、入江千佳委員、強矢奈保子委員、 米田清美委員、能登克己委員、鈴木博委員、高田明充委員、 富田泰行委員、松村勘由委員、土屋真智子委員
欠席委員(者)氏名	石井亮英委員
担当課職員職氏名	生涯学習課 課長：油川誠 主幹：山崎功二 主査：川島和也 主事：尾花香穂 中央公民館 館長：鈴木洋
会議次第と会議の公開又は非公開の別	<p>《会議次第》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱式 2 あいさつ 3 開会 4 自己紹介 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 正副委員長の選出について (2) 令和6年度生涯学習(社会教育)事業実績について (3) 令和7・8年度研究テーマについて 6 その他 7 閉会 <p>《公開又は非公開の別》</p> <p>公開</p>
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	<p>次第</p> <p>令和7年度第1回社会教育委員会議資料 報告書「効果的な情報発信について」 令和7年度公民館要覧「さつき咲く」</p>

会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	田中裕史委員、大河内伸浩委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
高田委員長 事務局	<p>1 委嘱式</p> <p>2 あいさつ 清水教育長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市教育行政への多大なるご理解とご協力に感謝申し上げます。 ・中央教育審議会でも社会教育などの在り方について議論されており、市でも注視しているところである。進展があれば委員の皆様にもお示ししたい。 ・様々な立場で社会教育に造詣の深い委員の皆様には、幅広い観点での議論を宜しくお願ひしたい。 <p>挨拶終了後、教育長退席。</p> <p>3 開会</p> <p>4 自己紹介</p> <p>会議録署名委員の指名について、田中委員、大河内委員。</p> <p>5 議事</p> <p>(1) 正副委員長の選出について 委員長立候補なし。事務局案は高田委員。 副委員長立候補なし。事務局案は鈴木委員。 両者、事務局案で全出席委員承認。 以降の議事進行は高田委員長。</p> <p>(2) 令和6年度生涯学習(社会教育)事業実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明を求める。 ・資料に基づき説明。

高田委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問、意見はあるか。
松村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉や健康増進など、様々な部署で行われる事業を含めて生涯学習、社会教育であると考えているが、この会議で報告されているのは生涯学習課が所管している事業のみを指して社会教育と呼んでいると考えて良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・お見込みのとおり。社会教育はネットワーク型行政とも言われ、様々な部署で社会教育の機会が提供されているが、今回の資料については生涯学習課が所管している事業について報告させていただいている。
松村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課では他課で行っている社会教育の事業内容を把握しているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全てを把握しているとは言い難いが、各課と連携を図りながら事業に取り組んでいるものもある。例えば、中央公民館で行っている「ゼロママ集まれ！」という事業では子育て支援課とも連携しながら進めている。社会教育は広範な分野に及ぶため、把握し切れていない部分もあるが、市全体で社会教育に取り組んでいる。
松村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・広報などに多くの情報はあるものの、こういうことをやりたいと思ったときに、探しやすい形になっていないと感じている。所管する課を超えた事業一覧のようなものがあると良い。 ・演劇に関心があり、観覧してみたいと思っているが、演劇プロジェクトの予算が他の事業に比べると大きいように見受けられる。市として力を入れて取り組んでいる事業ということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市では文化芸術を総合政策として推進するための基本的な方針の策定や、令和4年度には文化芸術基本条例も定めている。演劇プロジェクトはそれ以前から続けており、旗手事業として位置づけ、文化芸術を総合政策として推進していく市の取り組みを市民の皆様にも知っていただくため、力を入れて取り組んでいる事業である。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館の実績説明の中で、電子申請を導入したところ、申請が1.5倍に増えたという説明があったが、非常に良いと感じている。そうした中、生涯学習担当の事業では「子ども大学よしかわ」が参加者14名、文化財保護担当の事業では「市内文化財めぐり」が参加者7名となっており、やや少ない印象を受ける。これらの事業については、もともと何名の参加を見込んでいたか。また、実際にどのように周知して参加者を募ったか。昨年度、効果的な情報発信について報告書をまとめたが、どのように広く伝えようとしたかを伺いたい。主旨としては、公民館で1.5倍に増えたということであれば、他の事業でも電子申請を導入したら良いのではないかという観点からの質問である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども大学よしかわは募集定員は設けていない。市の広報、ホームページ、教育委員会X（旧Twitter）、学校配信メールにより周知を行った。子ども大学よしかわの参加者募集でも電子申請を活用し、時間を選ばずに参加申込ができるように取り組んでいる。 ・市内文化財めぐりは、定員を20名としている。当日欠席が1名いたため、参加者

	<p>は7名となった。この事業は、文化財保護担当の年間テーマである無形民族文化財「祭り」と絡めて実施している。もともと10月に文化財展を行い、その後、11月に市内文化財めぐりを行う計画であったため、10月の文化財展の機会に合わせてポスター掲示や市内文化財めぐりの内容を周知しようと考えていた。しかし、10月に国政選挙が行われることが急遽決定し、文化財展の開催時期を1月に延期したため、市内文化財めぐりの周知については、広報、ポスター、関係者への周知に留まり、あまり広く展開できない中での開催となった。テーマが祭りであり、祭りには多くの関係者がいるため、参加者も集まると見込んでいたが、結果としては想定よりも集まらなかった。多くの方に興味を持ってもらうために、ネーミングを分かりやすくするなど、工夫が必要と考えている。</p>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に面白そうなので、勿体ないと感じた。
富田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この週末に八坂祭りがあった。越谷市の阿波踊りに対し、吉川市にも八坂祭りがあると市民が誇りに感じられるようになると良いと思う。担い手不足について言及されていたが、担い手不足を解消するための方策について伺いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足に対する方策としては、各町会の青年会とその連合体の企画で、子ども達が各町会の話所で神輿を直接見て回るスタンプラリーを実施している。
富田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護担当では祭りを調査した結果を図録にまとめているが、人材や運営資金の確保を課題として捉えている。個人的な意見ではあるが、人口が減少する中で、地区だけではなくて、吉川市全域から祭りに参加していけるようになると良いと考えている。ルールを守り、衣装も揃えてもらえれば、祭りに参加できることなどを周知していきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・八坂祭りが吉川市にとって大事な文化財という中で、文化財保護事業に要した費用が17万円、文化財愛護活動はゼロとなっており、予算額が小さいように感じる。八坂祭りを市として盛り上げていくためにはこの予算額で足りないのではないかなと思うが、市ではどのように捉えているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護事業のテーマとして祭りをピックアップしたが、祭り自体は商工課が所管しており、経済的な支援は少ないが、当日も商工課と一緒に運営を担うなど、人的な支援もしている。 ・担い手不足に関して、各地区の方が積極的に動いており、今年度はイオンタウン吉川美南での神輿の展示や担ぎ手の募集なども実施している。地区外の方を招き入れることに関して以前よりオープンにされており、一部の地区では地区外の子も達を担ぎ手として受け入れるという取り組みも行われている。
川上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は国際友好協会の推薦で委員になったが、子育てネットワークのスタッフでもある。6月上旬に子育てネットワークと下町が連携し、吉川美南駅前広場にお神輿を持ってきて、通った方々がお神輿を担いだり、法被を着られる体験イベントを行い、その中で7月19日と20日に八坂祭りがあることをアピールをした。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・私も平沼で生まれ、お祭りを身近なものとして育ってきた。私が平沼に住んでいることを知った子育て関係の父兄から、お神輿を担ぎたいという相談を受け、私から自治会長に伝え、参加に結びつくというように、人との繋がりや担い手が増えていくこともある。広報などでもアピールすれば、参加してみたいと思う青年や父兄もいるのではないかと思う。 ・子育てネットワーク協力のもと、吉川美南駅前広場で下町主催の大人神輿・子供神輿体験会が行われたとのことだが、この体験会は2年前から行われている。第1回はチラシの配布や吉川美南駅自由通路へのポスター掲示で参加者を募集したが、2回目を迎え、下町の青年会会長から広く周知をしたいと相談を受ける中で、教育委員会の後援名義を申請し、周知してはどうかと提案させていただいた。結果的に教育委員会の後援が承認され、小中学校の保護者へのメール配信を活用して周知を行った。子育てネットワークとの連携については伺っていなかったが、子育てネットワークの企画力と強力な支援で、楽しく賑やかな体験会が行われたと感じている。
高田委員長 事務局	<p>(3) 令和7・8年度研究テーマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明を求める。 ・社会教育法に定める社会教育委員の職務について説明。 ・令和5年度と令和6年度は、委員の皆様、昨今の社会教育や各団体の活動の現状を話し合っていたいただき、そこで出た課題を共有しながら研究テーマを決定し、報告書としてまとめていただいた。活発な議論の中で、参考になる意見も多数いただいたので、令和7年度と令和8年度も前回と同様の形で進められればと考えている。 ・参考に令和6年度に取りまとめた報告書を配布させていただいた。研究テーマの選定では、様々な意見が出た中で、社会教育を推進していくための共通課題として、社会教育に参加する方を増やし、その活動が広がっていくよう、「情報発信のあり方」に着目して議論し、報告書としてまとめていただいた。 ・今後の進め方としては、第2回、第3回会議でテーマを決定し、来年度はその内容について議論を図れればと思うがいかがか。
高田委員長 事務局 高田委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目はいつ頃の開催を予定しているか。 ・今年度、第2回は10月、第3回を2月の開催で予定している。 ・意見、質問あるか。 ・ないようなので、今年度の第2回、第3回で内容を決定していきたいと考える。 ・(異議なし) <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉葛郡市社会教育振興会、埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会を説明。

・次回の会議は10月、3回目は2月頃の開催を予定している。

7 閉会

鈴木副委員長挨拶

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 7 年 8 月 29 日

署名委員 田中 裕史（自署） 署名委員 大河内 伸浩（自署）